

回 向 文

本日、終戦記念日にあたり、本仏釈尊の御前みまえにおいて仏弟子日鑽、謹んで申し上げます。

本日の法要は、先の世界大戦をはじめ、すべての戦争で犠牲となられた諸精霊、併せてあわ、今なお続く紛争・内戦・テロなどで犠牲となられた諸精霊、さらに有縁うえん・無縁むえんの諸精霊に對して、釈尊しゃくそんの本懐經ほんがいきょう・法華經の読誦を通して、真心からの回向供養を捧げるものであります。

わが国は、戦後七十七年の歳月さいげつを通じて、和を貴ぶ精神もとを基に、文化国家、平和国家として歩み続け、豊かな発展を遂げて国際社会へ對して大きく貢献しております。

この事は偏ひとえに先の大戦で、尊い「いのち」を犠牲にされた、多くの御霊みたま いしずえの礎の上に築かれたものであることを、私わたくしたちは、常に忘れることなく心に刻み、仏教教団の責務として、悲惨な戦争体験や平和への願いを子々孫々にまで語り継ぎ、如何にして立派な国を打ち立てていくか、創造的に真剣に務めてまいります。

しかし、世界に目を転ずれば、ロシア軍によるウクライナ侵攻をはじめ、世界各地の紛争で、暴力と怒りの連鎖が起きております。法句経に『まことに怨うらみは怨みによって報いれば、ついに止やむことはなく、ただ怨みを捨てるとき、それは止むのである』とあります。

私たちは、このみ仏の大慈悲心を受持し、怒りの連鎖を断ち、共に生きる世界を目指し、大乘菩薩道を歩み、その功德を以もってすべての戦争犠牲者の御霊に回向いたします。

一心いっしんに仰ぎ見たてまつる久遠実成の御本尊並びに十方世界に遍満へんまんする、

諸仏、諸菩薩、諸天善神

私たちが法華経にお導きくださいました、

開祖さま、脇祖さま

何とぞ、私たちの菩薩行をご照覧しょうらんくださいます

ように、宇宙に存在する唯一ただひとつの母なる水の惑星・地球世界に平和が招来しょうらいされますように、

すべての生きとし生けるものが平安でありますように、慈悲の御手みてを差し伸べ、ご守護くだ

させていただきますようお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經

令和四年八月十五日

立正佼成会

会長 庭野日鑛

謹^{つし}んで申し上げます